

睦合西地区地域福祉推進委員会 関連団体の活動紹介！

睦合西地区青少年健全育成会会長 寺田 博正

睦合西地区青少年健全育成会は、地区住民並びに各団体が協力し、青少年の健全な育成と非行の防止を図ることを目的に日々活動しています。及川・及川住宅団地・林地区青少年健全育成会から選出された委員及び各青少年育成事業に携わっている委員等で構成されています。

《あゆを知る体験学習会》



あゆを知る体験学習会が7月29日(土)に公民館で開催されました。参加者は、申込みのあった小学生約50人と、その保護者約30人で、睦合西地区青少年健全育成会の役員が、本格的なあゆの塩焼きを竹串に刺し調理しました。はじめに、あゆの先生から①相模川の魚たち②あゆの生態を知ろう③魚にやさしい川づくりについて講座をしていただき、夏休みの自由研究応援講座として実施しました。その後、中庭に作られたプールで鮎のつかみどりに挑戦し、歓声を上げ、全身ずぶぬれになってすばしっこい鮎を追いかけていました。最後に、役員さんが焼いてくれた鮎の塩焼きをおいしく頂きました。子どもたちからは『ぬるぬるして早かった。』『追い込んで捕まえられてうれしかった。』など目を輝かして話してくれました。

～AEDによる応急手当講習会～

8月2日(水)、睦合西公民館で消防署の指導のもと、講習会が行われました。AEDを用いた心肺蘇生法の手順を練習しました。胸骨圧迫30回、人工呼吸2回の繰り返しとAED(音声で手順を教えてくれる)の操作は、実際にやってみると、思ったより難しく、複数回の練習が必要と感じました。



新主任児童委員を紹介します

氏名：高橋 育子
担当地区：主任児童委員
(清水小・緑ヶ丘小・林中・睦合中・睦合東中)
電話番号：224-6141

<活動紹介>

- 愛のパトロール(年3回)
安心・安全なまち会議と共催で、児童・生徒の長期休みの時期を捉え、青少年を育成する環境づくりの一環として、地域において共に生活している大人たちが区内を巡回し、青少年が安心して安全に生活できるようにすることを目的に、地域内のパトロールを行っています。
- 睦合西吹奏楽コンサート(年1回) 2月3日
青少年が芸術文化の創造、発表体験を通して、文化意識を高め、心豊かな人間性を育てること、地域の方に身近な公民館で音楽に親んでもらうことを目的として開催します。高校と中学生に出演をしてもらう予定です。
- 【新規事業】あゆを知る体験学習会(実施済み)7月29日
子どもたちが環境・自然・生物を大切にすることを育むため、あゆの生態講座・あゆのつかみ取り・鮎の塩焼きの試食を体験する夏休みの体験型学習会を開催しました。

ふれあい給食会

6月12日(月)、緑ヶ丘小学校でふれあい給食会を開催しました。普段子どもたちと触れ合う機会の少ない高齢者の方41人と子どもたちとの交流を深めました。おいしい給食をいただきながら会話し、楽しい時間を過ごしました。



中高年のための健康サロン 喫煙の害を考える

今、受動喫煙が社会問題になっています。喫煙者と同様に健康への悪影響が明らかになってきました。

喫煙による健康への悪影響

肺がんのみならず、各種のがん・心臓病・脳卒中(脳梗塞や脳出血)・肺気腫・歯周病などの病気と関連があるとされています。

悪影響になる原因物質

○ニコチン

抹消血管を収縮させて血圧を上昇させるため血管の内側に傷がつき、詰まったり、破裂しやすくなります。そして脳梗塞・心筋梗塞・脳出血になるおそれがあります。

○タール

発がん性物質が多く含まれており、肺がんのほか咽頭がん、食道がんや胃がん、排泄に関わる膀胱がんとの因果関係が報告されています。

○一酸化炭素

血液中のヘモグロビンに酸素より優先的に一酸化炭素がついてしまい、全身に運ばれる酸素が減少してしまいます。その結果、筋肉や肌や脳に届けられる酸素が少なくなり、筋力や運動能力が低下し、肌や脳を若々しい状態に維持できなくなってしまいます。

たばこは2本吸うだけで一日分のビタミンCの必要量を消費してしまいます。喫煙者は『禁煙』にチャレンジしてみたいでしょうか。

(医学博士 福田千晶)

思い出しコーナー正解：①以 伝 ②鳥 月 ③全 全 ④棒 ⑤統 ⑥多 多 ⑦悪 苦
⑧一 不 ⑨四 楚 ⑩杓 子